

2012年2月21日

国土交通大臣
前田 武志 様
今後の治水対策のあり方に関する有識者会議
座長 中川 博次 様

水源開発問題全国連絡会
共同代表 嶋津暉之
共同代表 遠藤保男

有識者会議の公開を求めます。

国民とともに「できるだけダムにたよらない治水・利水」を目指すために設置されたにもかかわらず、「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」は一般市民には非公開のまま運営されてきました。私たちは「非公開は不当」として「公開」を数度にわたり求めてきました。しかしながら未だに私たち一般市民には公開されていません。

ダム事業者から検証検討報告を審議する会議をなぜ非公開にするのでしょうか。非公開にする理由は何もありません。

ダム事業は国民の税金を使うだけでなく、その地域社会と自然に多大な影響を与えるものであり、一般市民も重大な関心を持って検証の結果を注視しています。とりわけ、石木ダムの場合、水没予定地の反対地権者にとって、強制収用にもつながるダム検証の結果は今後の生活に重大な影響を与えるものであり、審議の行方を見守る権利があります。

以上から、次の2点を求めます。

1. 検証検討結果を審議する「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」の完全公開を求めます。
2. 完全公開を拒否するのであれば、本来の目的「国民とともにできるだけダムにたよらない治水・利水を目指す」を失った「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」の解散を求めます。

連絡先：水源開発問題全国連絡会事務局（遠藤保男） 電話 045-620-2284